

西
初_川等_文
修_仲身_編
書
卷二

K110.1
115
3

西川文仲編

卷二

初等修身書

大黒屋藏版

初等修身書卷二

西川文仲編

忠

忠とは心を
つくりて上

に奉ずるをいふ

書經疏

臣となりて 君に

事ふるは 忠の

本なり。忠經

君に 仕へては

よく その恩を

重んぶ わが身を

致すべし。初學訓

君子 忠を つく

せば 成なはち

其心をつくり。
小人忠をつく
せば。まなはち
其力をつくす。忠
經

仁義禮智信

こゝれを 五常とい
ふ
人の性にして

萬善の もとなり
仁とは 人を 愛
し 萬物を 憐む
なり。
義とは 君の 爲

に 一の 私の 爲に
せざるなり。
禮とは 人を 敬
ひ 萬の事 正し
きを 失はざるか

り
智とはもの、
善悪を 知り 辨
ふるなり。
信とは 偽り な

く 約束の 違は
ざるなり。五常訓
孝は 徳の 本な
り。
教の 由りて 生

ずる 所なり。孝經
愛敬は 孝弟を
行ふの 基なり。
愛は 親より 始
む。

敬は 長より 始
む。禮記
孝は 百行の 本
衆善の 始なり。
後漢書

君子は 本を 務
む 孝弟は 仁を
為すの 本なり。
己が 欲せざる
所は 人に 施す

なかれ. 論語
人の 恩は 忘る
なかれ. 徳川光國
善を 爲す者は
天 報ふに 福を

以てす。前漢書

徳は善を積む

にあり禍は

悪を積むにあ

り。三略記

學問は志を立

つるを本とす。貝

原篤信

君子は親に孝

なり故に移し

て 君に 忠なり。
兄に 弟なり 故
に 移して 長に
順なり。孝經
君に 事ふるは

親に 事ふるが
如く 官長に 事
ふるは 兄に 事
ふるが 如し。呂氏
童蒙訓

悪には 趣きや
すし 慎むべし。
善には 進みが
たし 勉むべし。
善に 習へば 日

々に 樂しむ。
悪に 傲へば 日
々に 苦しむ。貝原
篤信

正直は 一生の

寶なり。徳川光國
道を教ゆるの
師は其恩尤も
重し君父と
同しく貴ぶべし。

初學訓

朝早く起くる
は家の榮ゆる
兆なり。
晩く起くるは

家の衰ふる基
なり。大和俗訓

卷二終

明治十六年十一月十日 版權免許

正價金六錢

近刻教科書目

小學初等作法書

新撰小學書牘

初等修身書首卷

授用

中等脩身書

新撰小學地誌

學校用珠算書

猶續々出版

編者

滋賀縣士族

西川文仲

上京區茅拾吉組真如堂前町百廿番地寄留

京都府平民

出版人

大黒屋太郎右衛門

上京區茅世二組下丸屋町三番戸

發賣所

京都河原町通二條下二丁目

教科書出版所
大黒屋書舗

西
初_川等_文
修_仲身_編
書
卷三

K110.1
115
4